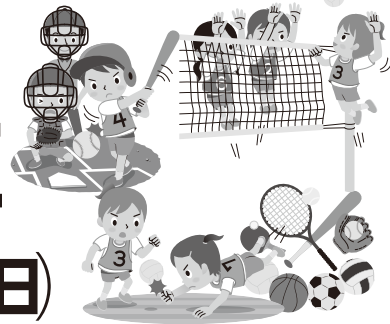


# 3年ぶりの 第75回寿地区 球技大会 7月3日(日)



世帯数 6,101戸  
人口 13,874人  
(令和4.9.1現在)

コロナ禍で2年間で中止となっていた寿地区球技大会が7月3日に開催されました。今年もコロナ感染は発生していましたが、感染対策をしっかりと行い実施しました。

開閉会式の省略、抽選前の出場可否の確認、選手の健康管理表作成、当日の検温およびチェックシートの記入、合同チームの参加、総合順位付けの取りやめ等工夫を凝らしたの開催となりました。

それでも、3町会が参加できませんでした。2年間のブランクは各町会の体育部活動も休止させ、選手・道具・活動費といった継続性が途切れてしまったことが原因かと。規模は縮小されたとはいえ開催できて良かったと思います。

今回の大会の反省を踏まえ、来年度以降につなげていってもらえたらありがたいです。

【館報編集委員 清水 壽雄】

## ソフトバレーボール(40歳以上)



順位	地区名
1	竹漕
2	寿田川
3	小池
4	下瀬黒

## ソフトバレーボール(39歳以下)



順位	地区名
1	竹漕
2	百瀬
3	下瀬黒
4	上瀬黒
5	寿田町

## ソフトボール



順位	地区名
1	百瀬
2	白川
3	寿田町・小池合同
3	竹漕
4	下瀬黒
4	上瀬黒

## 新卓球



順位	地区名
1	百瀬
2	竹漕
3	小池
4	下瀬黒
5	寿田川

## 野球



順位	地区名
1	白川
2	白姫

【排球】参加町会が少なかったため中止

# わがまち鎮守の杜に見守られ

赤木町会では、2か所の鎮守の杜に見守られています。上の宮（諏訪神社）、下の宮（諏訪社津島社）です。曆に合わせ、1年間に4回のお祭りを行い、日々の生活の安寧や豊作を祈願してきました。また、お祭りの準備や宮司を囲んでのご神酒の振る舞いは、氏子が集う大切な機会でした。現在は、コロナ禍のため、お祭りの準備と参拝のみとなっておりますが、一日でも早く元の姿に戻れることを願っています。

さて、赤木町会では、数年



<元日 上の宮参拝の様子>



<元日 下の宮参拝の様子>

前まで、元旦マラソンが行われていました。元日の朝に、上の宮を参拝した後、下の宮まで走って移動し、下の宮を参拝する行事でした。現在は、幹事が上の宮と下の宮を元日の朝に参拝しています。

その他にも、秋葉様、浅間様といくつも社があり、毎年祭礼を行い、町会の皆さんが安寧に過ごせるように見守っていただいています。これからも、大切にお守りしながら過ごしていきたいと思えます。

【館報編集委員 関 雅夫】

## 白川町会夏祭り



3年ぶりの夏祭り開催は、感染対策のため開催時間を伸ばし密集を避け2部制（昼夜）で行われました。

昼の部は子供たち中心で全員参加のビンゴをはじめ、射的や輪投げが順番待ちするほど人気で小さな子供まで楽しんでいました。

夜の部では大人も交じりギター倶楽部による演奏でまったりとした時間が過ごせました。参加者はじめ役員方々からは「子供たちが大勢来てくれて楽しい時間を過ごしてくれて良かった」と言う声が聞かれました。

また来年、開催できる事を楽しみにしています。

【館報編集委員 百瀬 清司】

## 小池公民館の陶芸教室

3年ぶり、8月28日に小池公民館にて開催されました。

講師は、木村鈴一先生（浅間焼窯元）で当教室は20年以上担当されています。

参加者は9名で、初参加の方もいれば、過去に何回か参加された方もいました。

花瓶、お皿、マグカップ、ぐい飲み、素焼きの鉢等各思い思いの1品を作りました。

皿の模様には、なすの葉の葉脈を押し付けたり、ろくろを使用してぐい飲みを作りました。

出来上がった作品は、小池町会文化祭や、寿地区文化祭に出品されるとの事です。

【館報編集委員 清水 壽雄】



## 消防団員募集

松本市消防団第十六分団 分団長 瀨 明範

日頃より消防団活動にご理解を賜り感謝申し上げます。

十六分団は、寿・松原町会を担当し、団員数、五十四名、二十代から五十代が在籍しています。しかしながら減少の一途たどる消防団員は全国的にも深刻な問題となっており、我が地域においても例外ではなく、団員確保が急務となっております。

昨年、寿小学校三年生の皆さんの、社会科「くらしを守る」の学習にて、お話をさせていただく機会がありました。少しでも興味を持ってもらい将来の消防団員が誕生してもらえたら嬉しいのです。

活動は、毎月十五日に市民防火の日とし、サイレンでの注意喚起、本部での機材点検や動作確認、消防車三台による巡回・広報等を実施しています。

「自らの地域は自ら守る」安全で安心して暮らせる地域づくりに目指すため、皆様のご協力をお願いいたします。



【館報編集委員 百瀬 清司】